

事務事業名	根本山いきものふれあいの里保全管理事業		担当	市民生活部 環境課（根本山） 根本山自然観察センタ	
政策名	5	「環境づくり」～安全なまちアップ!～	施策名	4	自然環境の保護と地球温暖化対策の推進
成果指標	名称		単位	5 年度実績	
	区域内に生育する植物の種数		種	約600	
	区域内に生息する野鳥の種数		種	97	
	区域内に生息するチョウ、トンボ、バッタの種数		種	131	
事業概要	根本山自然観察センターを中心とする約22ha（うち市有地18.4ha）の区域は、平成元年に環境省の「根本山いきものふれあいの里」に認定され、市民の自然とのふれあいや環境学習の場として整備された。 里山の多様な生物が生息し観察ができるよう、森林や水辺、草地等の自然環境の保全管理を行う。				
5 年度 実績・成果・課題	【実績】区域全体の下草刈り、遊歩道の定期的な草刈り、間伐・枯木伐採、雑木林等の落ち葉かき、ツツジ等の剪定、桜天狗巢病及び徒長枝除去等を計画的に実施した。下草刈りの際には、希少な植物のほかヤマツツジ、ヤマハギ等も保護・育成を図った。 【成果】里山の多様な自然環境が保全され、様々な生物が生育、生息している。 【課題】観察林（雑木林）の老木化により植生が単純化しており、伐採による萌芽更新（若返り）が課題である。 ナラの木が集団的に枯損する「ナラ枯れ」が発生し、倒木の危険がある。				
今後の方向性と 具体策	☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統合 ☐ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 【具体的な改善案】 ・観察林（雑木林）が若返り、生物多様性の高い自然環境になるよう、観察林の更新方法について検討します。 ・「ナラ枯れ」の被害の拡大を防ぐため、「予防」と「甲虫の駆除」を引き続き実施します。				